



安心とつながるおの町「三の手」をめぐって

防災 まちづくり から 瓦版

平成6年4月1日

発行「一寺言問」を防災のまちにする会

高田製薬 跡地 検討中⑤

利用構想案まとまる

——計画コンセプトは「みんなの家」

平成3年末から2年間に亘って検討を重ねてきた高田製薬跡地の利用構想案がまとまりました。

12月13日の担当理事会で、建物と広場についてこれまでに提出されたイメージを整理したところ、「地域の防災まちづくりに活動拠点としての建物」と「自然を感じ、憩いのある広場」というイメージになりました。そしてこれらを重ね合わせましたところ、「みんなの家」という計画コンセプト（概念）がまとまりました。建物は「家」です。まちの中の大きな家、広場にとっては大きなあづま屋のようなものにしたとと考えています。内部は会議室と瓦版などの展示スペースを中心に考えています。広場は「庭」です。まちの人々が庭いじりをする感覚で手を加えることができ、自由なしつらえがまちに広がるイメージにしたいと考えています。家と庭という概念から「開放感」「親しみやすさ」「落ち着き」のある空間づくりを目指しています。具体的にどんなしつらえにするかは、今後地域の意見を聞きながら考えていく予定です。

近隣に呼びかけて説明会を実施

——みなさんのご意見をお寄せ下さい

3月2日に、担当理事会は近隣の方々に呼びかけて説明会を開き、意見を聞きました。近隣からは14名が参加。様々な意見やアイディアが飛び交いました。

隣接するお宅からは「家の中が覗かれたり、いたずらされたりしないよう、塀や柵などを工夫してほしい」とか「風よけの植栽がほしい」といった意見が出されました。また「宮城県沖地震を仙台で経験したが、断水でトイレの水に困った。雨水のタンクはできるだけ大きくして、広場のトイレも雨水利用をしてはどうか」という意見も聞かれました。

担当理事会では説明会で出された意見を踏まえて、4月から具体的な設計内容の検討を始め、9、10月頃までにまとめる予定です。整備工事は平成7年度に行われ、平成8年3月には完成する予定です。みなさんも高田製薬跡地利用構想案についてのご意見やアイディアがありましたら、一言会事務局までお寄せ下さい。



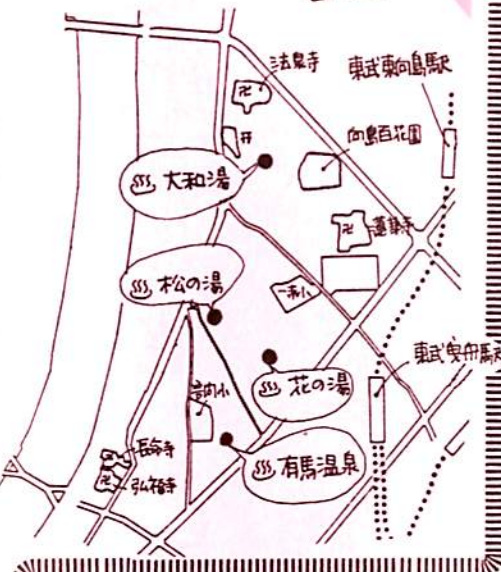
一言会事務局
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20
墨田区まちづくり事業推進部
地域整備課内
TEL (5608) 6261

一寺言問の

銭湯探訪記



銭湯といえば大きな湯船に壁画。家庭のお風呂とはひと味違った、ゆったりとした気分での入浴が楽しめるのが魅力です。そして、たまたま居合わせた人と入浴し



アサヒビル配送センター 一言会、

要望書に対する回答を求め

1月18日にアサヒビルから一言会に覚書を交わしたとの提案がありました。1月31日の理事会で覚書について検討したところ、2月25日の理事会にアサヒビルと飛鳥建設を招き、建設内容と要望書の回答に加えて、覚書の目的についても説明してもらうことになりました。

飛鳥建設の説明によれば、要望書の回答については「建設内容に変更はなく、もう一度回答しても前回と同じものになってしまつので、あえて回答しなかつた」という話でした。また、覚書については「将来の開発に対するもので、一言会が要望を出している（現在の建設工事は含まない。将来、アサヒビルの担当者が変わつても一言会との協議を行うつらうに、社内文書として残しておきたい」という目的だそうです。

一言会は「将来のために覚書を交わすのも結構だが、現在協議中の課題についてはじめを付けておく必要がある」として、改めてアサヒビルから一言会に回答するよう要望しました。覚書については、その経過を見ながら対応してまいりたいと申しました。

私がまちづくりスタッフです

その31

墨田区まちづくり事業推進部
地域整備課
志村紀夫さん
(一言会事務局)



一寺言問まちづくりがはじまって、早いもので今年が10年目。まちづくりの担当課長も志村さんで五代目になる。

歴代の課長さんはみな、建築が専門の技術屋さんだった。志村さんは事務職。

勢田気がひとあじ違う。とにかく対応が静か。温厚で真面目な人柄なのだ。

昭和15年、台東区下谷に生まれる。おうちは傘の芯(当時は木製)を製造していた。3月10日の大空襲で焼け出され、栃木県士生に疎開。昭和24年墨田区業平に越してくる。

柳島小学校、本所中学が出身校。錦糸公園や隅田公園は子供の頃の遊び場だった。結婚して新居を構えるまで、青春時代を墨田区で過ごされる。

「町の人の意見を聞いて、国や東京都の制度にどう活かすか。東京都の防災生活圏促進事業が平成7年度まで。このタイムリミットの中で、一言会のまちづくりを有効に実現してゆきたい。高田製薬跡地は一言会が長年の夢を温ためてきた土地。まちづくりのシンボルになるようなものに整備したいですね。」

笑うと細い眼がさらに細く、口元のハキムも可愛い、やさしい顔になる。この方とけんかしても絶対まけるナと思う。(純)

いちごことい

一寺言問/防災まちづくり瓦版

第33号 平成6年4月1日発行

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・植竹モト
阿部羊一・明間 藤・中村淑子

編集協力/マヌ都市建築研究所

発行/一寺言問を防災のまちにする会・事務局
墨田区まちづくり事業推進部地域整備課内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)6261

●松の湯(東向島1-10-18)

鳩の街通りに面して建ち、風格のある佇まいを見せる銭湯。

浴場の壁画は華やかで、正面に男湯と女湯にまたがって「伊豆半島」の絵が大きく描かれている他、男湯と女湯とを仕切る壁にも、男湯側は「入浴する裸婦」、女湯側は「花と鳥」が描かれています。大学の研究者が調査にきたこともあるそうです。

脱衣場にはそれぞれ坪庭が設けられ、レトリックな番台は講談社文庫のCMにも使われました。番台の横には藤で編んだ脱衣籠も積み重ねられていました。

土曜日定休で、午後4時から11時半までの営業。

電話番号(3616)0268



この屋根が目印

▽男湯です

●大和湯(東向島3-14-16)

白鬚神社から向島百花園に向かう道沿いに建つ銭湯。入り口脇には、災害時の水のありかを示すシンボル「路地尊第1号基」が建っています。

浴場の壁はタイルで、細やかな模様を大胆に色分けした、反物の柄のようなデザインになっており、上品で落ち着いた雰囲気をつくり出しています。

脱衣場の天井はがっしりとした格子天井。男女の仕切壁の上には時代を感じさせる柱時計が掛かっています。古いためよく壊れるけれども、ご主人のこだわりで大切にしているそうです。

第1・第3木曜定休で、午後4時から12時までの営業。電話番号(3611)0948



●有馬温泉(向島5-38-18)

言問小学校の脇で戦前から営業を続けている銭湯。戦争で一度焼けてしまい、今の建物に建て替えたそうです。

浴場の壁画は男湯が「富士山」女湯が「竜王峡」という伝統的なスタイル。銭湯の壁画を描く人は日本に3人しかいないそうで、そのうちの1人である「中島さん」という方が描いたものだそうです。物珍しさに銭湯壁画の愛好家が度々訪れ、関西テレビも取材にきたとか。

お風呂を沸かすのに、電柱のトランスから回収した廃油も使っているとのこと。資源の再利用もしている銭湯です。

定休は月2回で、午後3時から12時までの営業。

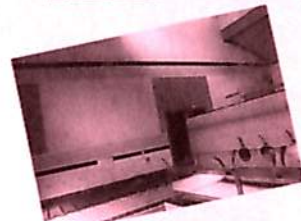
電話番号(3624)3360

▽女湯の「竜王峡」



△おなじみの入口

◇路地尊のある大和湯



△壁画はありませんが
シンボリックなデザインのきれいな浴場です

一方銭湯は防災上も重要な存在です。一寺言問地区の4軒の銭湯はいずれも井戸水を使用し、新や重油でお風呂をわかしています。ということは、災害が起きた時でも銭湯には大量の水があり、燃料があるということです。もちろん断水やガスの供給停止時にも銭湯に行けば安心してお風呂に入れるわけです。そこで瓦版編集局は、一寺言問地区の銭湯の魅力を探訪し、紹介することにしました。忙しい中快く取材に応じてくださった銭湯の方々、どうもありがとうございました。

●花の湯(東向島1-30-8)

向島4丁目にある曙湯の支店で、高田製薬跡地から水戸街道へ向かう道沿いに建つ銭湯。

浴場の壁はタイルで描いたモザイク画で、男湯は「ヨット」、女湯は「椰子の木」と、現代風の明るい海の風景が描かれています。

脱衣場の壁には、男湯、女湯ともに切り絵や水墨画が並べられています。これらの絵は、この銭湯の白田さんが描いたもので、何でも番台で描き始めたのが始まりだそうです。墨田区の文化祭に出展した絵もあるそうです。

月曜日定休で、午後3時半から12時までの営業。

電話番号(3611)9323



△明るい海の風景をみながら入浴



▽ロッカーの上には白田さんの絵が並ぶ





何を 育てようかな?

第6期有季園利用者決まる

2月19日、向島有季園にて、第6期利用者の抽選会が行われました。今回は、12区画に18名の応募があり、倍率はちょうど1・5倍。都立高校の倍率よりもちょっとびり厳しいそうです。
みんな真剣な表情で抽選箱を見つめます。今期の利用者は、有季園は初めてという方3名と、有季園の野菜づくり・花づくりはやめられないという方9名に決まりました。

抽選会に引き続き、第1回利用者会議が開かれました。利用協定を一言会と結んだあと、前回の利用者の方と情報交換です。「消毒は一斉にやるほうがいい」「植木の剪定についての講習会だけでなく、野菜作りの講習会もうけてみたい」「自分で収穫したモノは写真にとって収穫祭のときに自慢しよう」といった意見がだされました。意欲満々の方たちの有季園利用は、翌日(2/20)からスタートです。



区画名	氏名	住所
めじろ	牧野 泰幸	向島 5-38-9
しらすぎ	植竹 モト	向島 5-35-14
つばめ	金山浜三郎	向島 5-44-10
かもめ	敷浪 静恵	向島 5-17-2-202
せきれい	石橋 康人	向島 5-34-5
みやこどり	島崎 易二	向島 5-34-9
しじゅうから	加賀 清	東向島 3-15-24
ほととぎす	森 富子	向島 5-21-7
こじゅけい	中村 明男	東向島 1-35-10-704
じゅうしまつ	田中 孝一	向島 5-18-6
ちどり	高田けい子	向島 5-27-13
うぐいす	中村ゆき子	向島 5-34-3



△利用者の顔合わせ「隣の区画はどれかな？」(向島五丁目東町会会館にて)



一寺言問地区に視察団を派遣する

昨年12月1日(水)には、中野区南台1・2丁目地区まちづくり勉強会の皆さん39名がやってきました。
向島五丁目東町会会館で意見交換会を行った後、地区内を見学していただきました。これから、本格的にまちづくりをはじめるとあって、路地尊や百花園通りといった一寺言問地区の成果を熱心に見学され、「中野区まちづくり通信③南台1・2丁目のまちづくり」では、当日の様子を見聞き一枚を使って大々的に紹介していただきました。

▼「中野区まちづくり通信③」で一寺言問地区を大々的に紹介。



▲中野区南台1・2丁目地区まちづくり勉強会の皆さん。

Mr. まちづくりを目指す
中野区の課長さん



年が開けて、2月7日(月)には、世田谷区防災地域活動推進協議会の皆さんが、見学にやってきました。世田谷区全域を対象とした防災組織だということもあり、特に、町会単位での防災訓練など地域住民の防災意識について活発な意見交換が行われました。

都鳥の群れ現れる
在原業平が「名にし負はば、いざこと問はむ都鳥・・・」と歌ったように、言問の名と都鳥とはきいてもきれいな縁があります。
一言会が沿道住民とともに検討を続けてきた三とも通りの工事が完成に近づき(この瓦版が発行されるころには、完成しているでしょう。)(前号の瓦版でもご紹介いたしましたように、ガードレールから変わったポラード(車止め)ののてっぺんには、可愛い都鳥の置物がずらりと並びます。



世田谷区防災地域活動推進協議会の皆さん。

街角 新聞 ニュース



1 台東区「下町塾」で一寺言問地区を紹介

2月9日、台東区まちづくり公社の「下町塾」で、一寺言問地区の防災まちづくりが紹介されました。



2 隅田川のみやこどり

みやこどり：初春は、隅田川のほとりで休むのが気持ちいいんだよ、ネ。



3 路地尊の波及効果？

第一寺島小学校に雨水をためるタンクが設置され、朝礼では雨水利用についてのお話がありました。区内の小学校に、このタンクは設置される予定です。



4 大雪の風景

上：前日の夜から降り始めた雪が路地尊の屋根を覆いました。(1/30)

下：12日から的大雪は、植栽の中に珍しい氷柱をつくりました。(2/14) (墨田区屋内プール体育館の雨樋)



▲戸田市川岸地区まちづくりを考える会の皆さん。

☆事務局視察同行記
紹介いたしましたように、昨年末から今年2月にかけて、3地区の皆さんが、一寺言問地区を見学にいっしょにやりました。この間視察に同行していただいた理事の皆さん、本当にお疲れ様でした。さて、一寺言問の防災まちづくりも有名になったなあーと鼻高々なのですが、その一方で、集団で地区内をあるきまわったため、一寺言問地区の皆さんは、さぞかし驚かれたり、もしかしたらご迷惑をおかけしたかもしれません。全国的になった一寺言問の防災まちづくりですから、今後ともこのような視察団が多くやってくると思われます。事務局といたしましても、事前にわかっているものは、瓦版等を通じてお知らせしていくつもりです。どうぞ、今後ともご協力をお願いいたします。



▲瓦版を手に説明する一言会理事。(戸田市との意見交換会にて)



▲シンプルに生まれ変わった「はとほっと」の外燈。

「はとほっと」の外燈が変わりました
オープン以来、「はとほっと」に設置されていた2本の外燈が、壊れてしまったために、通り側にシンプルなスタイルの外燈が、新たに設置されました。
駐車側の外燈は、電話ボックスの蛍光灯があるので、撤去され、一本だけになりましたが、通りと広場を十分照らす明るさになっています。
「はとほっと」同様、新しくなった外燈もかわいがってください。



▲都鳥がのったポラード(車止め)



▲世田